

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公開番号】特開2014-12583(P2014-12583A)

【公開日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2012-150351(P2012-150351)

【国際特許分類】

B 6 5 H 1/26 (2006.01)

B 4 1 J 13/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 1/26 3 1 0 J

B 6 5 H 1/26 3 1 0 H

B 4 1 J 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録部と、

前記記録部に搬送される媒体を収容する媒体収容部を有する媒体収容トレイを備えた媒体カセットと、

前記媒体収容トレイの上部に設けられ、前記記録部で記録された媒体を受ける排紙受けトレイと、を備え、

前記排紙受けトレイは、前記排紙受けトレイにおける前記媒体収容部の搬送方向の送出側の端部から形成された切り欠きを有し、

前記切り欠きは、前記媒体収容部を露呈することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の記録装置であって、

前記切り欠きは、前記媒体収容部に収容される媒体の全領域を露呈することを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載の記録装置であって、

前記媒体収容部に、前記媒体を規制するエッジガイドを備え、

前記切り欠きは、前記エッジガイドを露呈することを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

請求項 3 記載の記録装置であって、

前記エッジガイドは、移動可能であり、

前記切り欠きは、前記エッジガイドの移動領域全域を露呈することを特徴とする記録装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか一項に記載の記録装置であって、

前記媒体収容トレイは、媒体を収容する第 1 媒体収容部を有する第 1 媒体収容トレイと、前記第 1 媒体収容トレイの上部に設けられた、媒体を収容する第 2 媒体収容部を有する

第 2 媒体収容トレイと、で構成され、

前記排紙受けトレイの前記切り欠きは、前記第 2 媒体収容トレイの前記第 2 媒体収容部を露呈することを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

請求項 5 記載の記録装置であって、

前記第 2 媒体収容部に収容される媒体のサイズは、前記第 1 媒体収容部に収容される媒体のサイズより小さく、

前記第 2 媒体収容トレイは、前記排紙受けトレイに対して進退移動可能であることを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

請求項 6 記載の記録装置であって、

前記第 2 媒体収容トレイが前記第 2 収容部の媒体の送出可能な位置に移動した時に、前記排紙受けトレイの前記切り欠きは、前記第 2 媒体収容トレイの前記第 2 媒体収容部を露呈することを特徴とする記録装置。

【請求項 8】

請求項 5 ないし請求項 7 のいずれか一項の記載の記録装置であって、

前記排紙受けトレイは、前記第 1 媒体収容トレイの前記第 1 媒体収容部を露呈するように、回動可能であることを特徴とする記録装置。

【請求項 9】

請求項 8 記載の記録装置であって、

前記第 2 媒体収容トレイは、前記第 1 媒体収容トレイの前記第 1 媒体収容部を露呈するように、前記排紙受けトレイと共に回動可能であることを特徴とする記録装置。

【請求項 10】

記録部に搬送される媒体を収容する媒体収容部を有する媒体収容トレイと、

前記媒体収容トレイの上部に設けられ、前記記録部で記録された媒体を受ける排紙受けトレイと、を備え、

前記排紙受けトレイは、前記排紙受けトレイにおける前記媒体収容部の搬送方向の送出側の端部から形成された切り欠きを有し、

前記切り欠きは、前記媒体収容部を露呈することを特徴とする媒体カセット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決する為の、本発明の第 1 の態様に係る記録装置は、記録部に搬送される媒体を収容する媒体収容部を有する媒体収容トレイと、前記媒体収容トレイの上部に設けられ、前記記録部で記録された媒体を受ける排紙受けトレイと、を備え、前記排紙受けトレイは、前記排紙受けトレイにおける前記媒体収容部の搬送方向の送出側の端部から形成された切り欠きを有し、前記切り欠きは、前記媒体収容部を露呈することを特徴とする。

本態様によれば、媒体収容トレイと排紙受けトレイとを備えて成る媒体カセットにおいて、排紙受けトレイは、排紙受けトレイにおける媒体収容部の搬送方向の送出側の端部から形成された切り欠きにより、排紙受けトレイの下部に位置する媒体収容トレイへ媒体をセットする際に排紙受けトレイが邪魔にならず、或いは邪魔になる程度を緩和でき、媒体収容トレイへの媒体セット作業をより一層容易に行うことができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

また、上記課題を解決する為の、本発明に関連する第1の態様に係る媒体カセットは、媒体を収容する媒体収容トレイと、前記媒体収容トレイの上部に設けられ、媒体排出方向上流側端部に前記媒体収容トレイにおける媒体収容領域の少なくとも一部を露呈させる切り欠きが形成された、媒体を支持する媒体支持トレイとを備えて成る媒体カセットである

。本態様によれば、媒体収容トレイと媒体支持トレイとを備えて成る媒体カセットにおいて、媒体支持トレイの媒体排出方向上流側端部に、媒体収容トレイにおける媒体収容領域の少なくとも一部を露呈させる切り欠きが形成されているので、媒体支持トレイの下部に位置する媒体収容トレイへ媒体をセットする際に媒体支持トレイが邪魔にならず、或いは邪魔になる程度を緩和でき、媒体収容トレイへの媒体セット作業をより一層容易に行うことができる。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 0 】

本発明に関連する第2の態様に係る媒体カセットは、媒体を収容する第1媒体収容トレイと、前記第1媒体収容トレイの上部に設けられた、媒体を収容する第2媒体収容トレイと、前記第2媒体収容トレイの上部に設けられ、媒体排出方向上流側端部に前記第2媒体収容トレイにおける媒体収容領域の少なくとも一部を露呈させる切り欠きが形成された、媒体を支持する媒体支持トレイとを備えて成ることを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 2 】

本発明に関連する第3の態様は、第1のまたは第2の態様において、前記切り欠きは、前記媒体収容領域の、媒体送り出し方向と交差する方向の全体を露呈させる大きさに形成されていることを特徴とする。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 4 】

本発明に関連する第4の態様に係る媒体カセットは、第1から第3の態様のいずれかににおいて、前記切り欠きの、媒体排出方向下流側端部は、媒体が排出される際に当該媒体の先端が前記媒体支持トレイに接する際の位置より、媒体排出方向上流側に位置していることを特徴とする。

【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 6 】

本発明に関連する第 5 の態様に係る記録装置は、媒体に記録を行う記録手段と、上記本発明に関連する第 1 から第 4 の態様のいずれかに係る媒体カセットと、を備えたことを特徴とする。

本態様によれば、記録装置において、上述した第 1 から第 4 の態様のいずれかと同様な作用効果を得ることができる。